

科 目 名 日本文化論 Views on Japanese culture	学年 2	期別・授業形態・単位数 後期・講義・2単位	教員名 田村 修一 研究室 B棟3階 (B-303) 内線電話 8905 e-mail: tamura@maizuru-ct.ac.jp
授業 (30 時間) + 自己学習 (60 時間) = 標準 90 時間の学習時間			
科目到達レベル: <input type="checkbox"/> 1. 知識・記憶 <input type="checkbox"/> 2. 理解 <input type="checkbox"/> 3. 適用 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 分析 <input type="checkbox"/> 5. 評価 <input type="checkbox"/> 6. 創造			
【授業目的】 本講義は、芥川作品とその典拠となった古典文学を読むことによって、近代日本文化の本質の一端に触れることを目的とする。芥川文学は日本の古典文学と西洋の近代文学を融合・発展させたものであり、そのことは、近代日本文化（また文明にも）全体に通ずる普遍性を持っている。 【Course Objectives】 The course aims to perceive the essence of modern Japan culture, by reading Akutagawa works and Japanese classical literature. Akutagawa works were harmonized Japanese classical literature and Western modern literature. That has the universality which passes to the whole modern Japan culture.			
【到達目標】 1. 古典文学を鑑賞することができる。 2. 近代文学が古典文学を如何に吸収したかを理解できる。 3. 近代文学作品を読み解くことができる。 4. 日本の伝統文化と西洋の近代文化を融合・発展させた近代日本文化の特質を理解できる。			
【学習・教育到達目標】 (E) 豊かな人間性、国際性、協調性及び英語によるコミュニケーション能力を身につける。			
【キーワード】 古典 近代 文学 芥川龍之介 classic modern ages literature Ryunosuke Akutagawa	【授業時間】 2 時間 (90 分) × 15 週 = 30 時間 (22.5 時間)		
【授業方法】 講義を中心に授業を進める。適宜学生を指名し、音読させ、発問する。質疑は自由にしてよい。課題レポートも与える。	【学習方法】 1. 芥川作品を読む。 2. 典拠となった古典文学を読む。 3. 古典文学とは本質的に異なる近代文学作品を読み解く。		
【履修上の注意】 本科目は授業での学習と授業外での自己学習で成り立つものである。	【科目の位置付け】 1. 先行して履修すべき科目 現代文 I・II 古文 I・II 総合国語 IA・IB、IIA・IIB 国語国文 I・II 2. 後で履修する関連科目 3. 同時に履修する関連科目		
【定期試験の実施方法】 期末試験を実施する。時間は 50 分とする。			
【成績の評価方法・評価基準】 定期試験の成績 (50%)・課題レポートの評価 (50%) の合計をもって総合評価とする。到達目標に基づいた達成度を評価の基準とする。			

【教科書・教材等】

教科書：田村修一『芥川龍之介 青春の軌跡』（晃洋書房）
ほか適宜プリント配布

【参考書・参照 URL 等】

関口安義編『芥川龍之介新辞典』（翰林書房）
関口安義・庄司達也編『芥川龍之介全作品事典』（勉誠出版）
長野嘗一『芥川龍之介と古典』（勉誠出版）
宮坂覺編『芥川龍之介と切支丹物』（翰林書房）

【授業計画】

週	内 容	到達目標	教科書参照ページ
第1週	シラバス内容の説明、「羅生門」と『今昔物語集』①	1,2,3,4	15～29
第2週	「羅生門」と『今昔物語集』②	〃	〃
第3週	「羅生門」と『今昔物語集』③	〃	〃
第4週	「鼻」と『宇治拾遺物語』・『今昔物語集』①	〃	55～69
第5週	「鼻」と『宇治拾遺物語』・『今昔物語集』②	〃	〃
第6週	「蜘蛛の糸」と鈴木大拙『因果の小車』①	〃	69～89
第7週	「蜘蛛の糸」と鈴木大拙『因果の小車』②	〃	〃
第8週	「地獄変」と『宇治拾遺物語』・『平家物語』①	〃	91～130
第9週	「地獄変」と『宇治拾遺物語』・『平家物語』②	〃	〃
第10週	「地獄変」と『宇治拾遺物語』・『平家物語』③	〃	〃
第11週	「奉教人の死」と『聖人伝』・『南蛮本平家物語』①	〃	130～156
第12週	「奉教人の死」と『聖人伝』・『南蛮本平家物語』②	〃	〃
第13週	「奉教人の死」と『聖人伝』・『南蛮本平家物語』③	〃	〃
第14週	「芋粥」と『今昔物語集』・『宇治拾遺物語』①	〃	159～163
第15週	「芋粥」と『今昔物語集』・『宇治拾遺物語』②	〃	〃

★定期試験

定期試験返却・到達度確認

【学生へのメッセージ】

真の国際人になるためにはまず自国の文化についての理解を深めることが重要です。本講義がその契機の一つになれば幸いです。また時空を超えるような優れた芸術作品を鑑賞することは、「本物」と「偽物」を見分ける訓練にもなると思います。